



民生委員制度創設100周年記念

講演会 & パネルディスカッション

地域のつながりを作るために

～コミュニティカフェで地域の輪を広げる～

地域を支えてきた方々と新たな担い手に向けた未来へのメッセージ。新たな担い手と地域とがつながり、様々な担い手が調和しながら地域の中で発展していくきっかけになるかもしれません。自治会・町内会の皆様も是非ご参加ください。

日時 平成30年2月2日(金)14時～16時(13時30分開場)

場所 青葉公会堂 講堂

内容 第1部:講演
第2部:パネルディスカッション

※民生委員活動等を紹介するパネル展示あり

定員 600人(先着順)
※事前申込不要。当日会場にお越しください。

講師 & コーディネーター

名和田 是彦 法政大学 法学部教授
コミュニティ政策学会会長

パネリスト

赤塚 由子 NPO法人すすき野たまりんば副理事長
前青葉区民生委員児童委員協議会会長

楠 佳英 (株)ビヨンド・ザ・リーフ 代表取締役
兼デザイナー

森 祐美子 NPO法人こまちぷらす代表



赤塚 由子



楠 佳英



森 祐美子

主催:青葉区民生委員児童委員協議会 共催:青葉区役所、青葉区社会福祉協議会
問合せ:青葉区役所福祉保健課運営企画係 Tel:045-978-2433 Fax:045-978-2419

講師 & コーディネーター・パネリスト プロフィール

名和田 是彦



法政大学法学部教授 コミュニティ政策学会会長
横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会委員長
横浜市地域まちづくり推進委員会委員長
横浜市立大学、東京都立大学等を経て現在に至る。
横浜市立大学時代に市内の地域コミュニティと住民参加の実態を調査したのをきっかけに、コミュニティ論を本格的に研究するようになる。
自らも市民活動団体「まちづくりフォーラム港南」の代表として街づくり活動を実践。カフェを運営するなど住民同士が繋がる場を提供し住民主体の地域活動に取り組んでいる。
全国の自治体から講演要請やシンポジウムへの参加等、地域コミュニティへの関心の高まりとともに多忙を極める。横浜市在住。

赤塚 由子



NPO法人すすき野たまりんば副理事長
前青葉区民生委員児童委員協議会会長
平成4年から28年まで民生委員児童委員を24年勤める。その間、青葉区民生委員児童委員協議会会長を3年、すすき野地区民生委員児童委員協議会会長を18年勤め、地域福祉の増進に尽力。
平成27年からコミュニティカフェ「すすき野たまりんば」の運営に携わり、高齢者をはじめとした地域住民の憩いの場を提供している。

楠 佳英



株式会社ビヨンドザリーフ 代表取締役兼デザイナー
都筑区仲町台のコミュニティカフェ「いのちの木」とコラボレーションし、地域のおばあちゃんなどが作る、若い女性向けの手編みバッグのブランドを運営。
2017年横浜ビジネスグランプリ女性起業家大賞受賞。

森 裕美子



NPO法人こまちぶらす代表
2012年に「子育てをまちでプラスに」を合言葉に「こまちぶらす」を設立。
コーヒー一杯飲みに来た人から主体市民として企画する人まで多様な人の力を引き出し伴走する機能をワンストップでもつ「こまちカフェ」の運営や「ウェルカムベビープロジェクト」等子育てを「まち」全体で支えていくプロジェクトを多数運営。

民生委員制度とは・・・

大正6年5月12日に岡山県で誕生した「済世(さいせい)顧問制度」が始まりとされ、今年度100周年を迎えました。戦後に民生委員令が公布され、現在の「民生委員」という名称になりました。民生委員・児童委員は高齢者や障害者、子育て世代など地域の皆様の身近な存在として、区役所や専門機関をつなぐ地域福祉のパイプ役として活動しています。